

項目	書名 NEW HORIZON English Course <span style="float: right;">2 東 書</span>
特色	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○ Small Talk が多く盛り込まれており、聞くことの学習から話すことの学習につながり、自然になじみやすい。                      ○ 基本的な単語や表現を「Your Turn」で理解し、「Enjoy Communication」でやりとりの練習をしながら、知識や技能を身につけやすい。                      ○ 「聞くこと」「話すこと（やりとり、発表）」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく身につけさせる内容になっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○ 導入の「Starting Out」で音と映像を使って英語の表現に触れ、展開の「Your Turn」でペアやグループの友達とのやりとりの練習をし、まとめの「Enjoy Communication」で相手に伝えることが身につくように構成されている。また、「Check Your Steps」で、既習の表現を使って書くことで実際のコミュニケーションに生きる力を確かめるコーナーがある。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○ 単元の冒頭で「Our Goal」として学習の目当てを示すとともに、単元の構成が統一されているので、児童が学習の流れをつかみながら学習を進めやすい。                      ○ 外国の文化に関する資料が充実していて、世界の文化について知るとともに、日本や自分の住む地域について振り返りながら学習できる。また、世界と日本や自分のつながりを意識させる単元や内容が多く盛り込まれており、将来の考え方や生き方を考えさせることができる。</p> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                      ○ 各 Unit の流れが、「出会う」→「慣れる」→「楽しむ」→「広げる」→「確かめる」となっていて、学びを発展させながら学習を進めていける。                      ○ 学校や家庭での日常生活の場面を設定して英語の表現を扱っており、児童がなじみやすい。                      ○ 各単元の最後に「Over the Horizon」として、単元で学習した事柄を踏まえて、改めて日本と世界の国々を比較して、知識を持たせたり、世界との違いやつながりを認識させることで、学習内容が生きて働くコミュニケーションの基となるようになっている。</p>
資料	<p>○ 音声や映像資料が豊富で、QRコードで学校や家庭でも、利用することができる。また、どの単元にもたくさんの写真や絵が使われている。                      ○ 各単元のページの下部にある「Word Link」や「Sounds and Letters」、「Let's Read and Write」の学習に使える資料が巻末についている。また、ミシン目で切り取りやすい資料もあり、使いやすい。                      ○ 別冊の「Picture Dictionary」は、教科書のページを開いたまま活用できる。</p>
表記・表現	<p>○ 日本語も英語も、見やすいフォントに統一されている。                      ○ 活動内容やSTEPを示す文字や記号の形や色などが統一されていてわかりやすい。                      ○ 4線は、第2線が点線、第3線が水色、第2線と第3線の間が広がっていて書きやすい形になっている。</p>
総括	<p>○ 学校や家庭での日常生活の場面を学習内容の場面として設定している。どの単元も「Starting Out」でインプットし、「Your Turn」「Enjoy Communication」で練習・アウトプットし、「Over the Horizon」で、改めて日本と外国について確かめたり、考えたりする構成となっている。                      ○ 各単元の最初のページに学習の目標が示され、3回学習を振り返り、伝える力を確かめるコーナーが設定されている。                      ○ 教科書と並行して活用できる「Picture Dictionary」が別冊についている。</p>

項目		書名	9 開隆堂
特色	特 内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○基本的な語彙や表現に「Let's Listen」で触れ、「Let's Chants」や「Let's Sing」など多くのやりとりによる練習の活動を通して、知識や技能を身につける流れになっている。                      ○重要な表現を繰り返し「Let's Listen」や「Let's Chants」「Let's Play」等の活動を通して身につけるようになっている。                      ○「書く」活動を多く取り入れ、各単元の中だけでなく、巻末に「文字に慣れよう」として、集中的に資料が構成されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○学んだ英語表現を友達等とのやりとりや発表の活動によって、コミュニケーションの実感を味わいながら学習し、その後、身近な題材について、学んだ表現を用いて伝える活動を行い、主体的に身につけられる構成になっている。                      ○ペアやグループの活動を効果的に盛り込み、協働的・対話的に学び、身につけた知識や技能を思考力・判断力・表現力につなげていく構成になっている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○単元のめあてとともに、「CAN-DO マップ」が示されていて、学習の見通しを持ち、途中でも確認しながら進められるようになっている。また、「ふりかえりをしよう」のコーナーがあり、評価できるようになっている。                      ○「Project」は、学習のまとめと発展に生かせる内容になっている。また、「感謝の気持ちを伝えよう」などの単元は、人とのつながりを大切にする上で効果的な内容である。                      ○世界の文化を扱う活動として、外国の有名なものや衣食住について知ったり、考えたりする活動がある。</p> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                      ○インプットした語彙や表現を様々なやりとりの活動を通して身につけながら、使えるようにする流れになっている。                      ○文字の「聞く」「読む」「書く」については、集中的にページ立てをしてあり、まとめて見やすく、活用しやすい。                      ○学んだことリストがあり、児童が自分でチェックしながら学習の振り返りができるようになっている。</p>	
	資 料	<p>○「CAN-Do」マップで何ができるようになったか確認できる。                      ○後半部分の「文字に慣れよう」のコーナーが充実していて、文字についてたっぷり学習できるようになっている。また、巻末の「発音クリニック」や「この教科書で学んだことリスト」「中学校へつなげよう」などの資料が充実しており、中学校の学習をイメージして学んでいけるようになっている。</p>	
	表 記 ・ 表 現	<p>○全体的にシンプルで見やすい。                      ○英語の表記は、統一したフォントになっている。日本語については、外国語とは違うフォントを使用している。                      ○4線は第3線が水色で、それ以外は黒の点線、第2線と第3線の間が広がっている。</p>	
総 括	<p>○全体的に内容や活動は、「Hi! Friends」を引き継いだものになっている。                      ○単元の最初にめあてを示し、活動の見通しを持たせている。様々な活動を通して、基本的な英語の語彙や表現をインプットし、練習を通して身につける構成になっている。                      ○単元の目標に対して、「ふりかえりをしよう」のコーナーでは、具体的な評価になっている。                      ○巻末に「文字に慣れよう」として、20ページ以上にわたる資料がつけられている。</p>		

項目		書名	11 学 図
特 内 容 色		<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○「聞く」「読む」「話す（やりとり・発表）」「書く」の活動が、各単元にわかりやすく盛り込んである構成となっている。                      ○基本的な英語の語彙や表現を繰り返し練習し、友達等とのやりとりや発表をする活動につなげてあり、無理なく進めることができる。                      ○毎時間、「聞く」「話す」「読む」「書く」の活動が少しずつ、バランスよく盛り込まれている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○日常の日本での生活から外れず、コミュニケーションの目的を捉えやすい場面設定になっており、思考力・判断力・表現力の育成に結びつけやすい。また、「Use &amp; Check」では、自分の思いを伝え合う活動が設定されている。                      ○英語の語彙や表現に耳で慣れる活動からやりとりを通して使う活動が無理なく盛り込まれている。                      ○活動の場面が明確で、日本の祭りの紹介など、学んだことを実際の表現に生かすことが自然にできる流れになっている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○学習の目標・過程・評価がわかりやすく表記されていて、児童が確かめながら主体的に学習できる構成になっている。                      ○学級での生活や家庭・地域での生活の中に題材を見つけてあるので、単元を通して、学習内容になじみやすい。                      ○オリンピック・パラリンピックに関する資料を適所に盛り込んであり、すぐに活用できる。</p> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                      ○導入の見開きになっている場面絵の中に、コミュニケーションにつながる様々な要素があり、その後の学習で、更に切り取った場面を取り上げて設定していて、スムーズに内容に入りやすい。                      ○「Shaggy's Story」は、各単元で学習した表現と関連した楽しい内容で、「Project Time」で、学習を深めたり、発展したりできるようになっている。</p>	
	資 料	<p>○登場人物を使ったイラストが楽しく、ストーリー性もあり、場面設定も自然である。                      ○巻頭にクラスルームイングリッシュや3・4年の復習、5年の復習の内容及び、単元に入る前に確認したり、学習を進めている中でも振り返ることができる。                      ○写真や絵がバランスよく使われている。                      ○英語の歌やイラスト付きの Word List があり活用できる。</p>	
	表記・表現	<p>○英語、日本語のフォントとも統一されていて見やすい。英語は日本語よりも少し大きめに表記されている。                      ○4線は、すべて実線となっているが、第3線は少し太線になっている。第2線と第3線の間は少し広がっている。</p>	
総 括	<p>○各単元の学習の流れが統一されているので、学習の進め方がわかりやすい。また、各単元とも基本的な英語表現を繰り返し「聞く」インプットから、「聞いて繰り返す」、「話す」、「読む」、「書く」の段階で身につけ、自己表現をするアウトプットにつなげている構成となっている。                      ○単元の終わりにある「Shaggy's Story」は、学習のまとめとしても活用できる。</p>		

書名		CROWN Jr.		15 三省堂
項目				
特色	特 内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○教科書全体の構成を「HOP」「STEP」「JUMP」とし、2～3つの単元をひとまとまりとして扱い、インプットから練習を積み重ねて、アウトプットにつなげ、基本的な語彙や表現について身につけさせる流れとなっている。                      ○ Chant の練習を多く取り入れており、英語の音に親しみながら、学ぶことができる。                      ○アルファベットや単語などを「書く」練習が、各単元に盛り込まれている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○「STEP」では、2～3つの「Lesson」を通じて、音慣れから、ペアやグループ、全体での活動へとスモールステップで学ぶ流れになっている。                      ○「JUMP」では、「STEP」で学習したことをもとに、「Presentation」として目的・場面・状況を考えた上で自分で発表を組み立てて、友達に伝える活動につなげる流れになっており、思考力・判断力・表現力をともに高めるねらいで構成されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○大単元を一つの大きなテーマで扱い、見通しをもちながら学習をすることで、最後に自分として発表する活動につなげられる。                      ○「STEP」のはじめにパノラマで場面絵を示し、多くの発見とそれから先の学習への期待感をもたせる導入になっている。                      ○表紙裏の資料をはじめ、世界の言語や文化について扱う資料が盛り込まれており、異文化理解を図る工夫がされている。</p> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                      ○各単元が「聞くこと」と「話すこと（やりとり）」を色々なやり方で繰り返し練習し、「読むこと」「書くこと」から「話すこと（発表）」につなげる構成になっており、コミュニケーションを図るための資質・能力を育成する流れとなっている。                      ○「HOP」で示されためあてから学習が進み、「JUMP」の最後では自分としてのめあてを児童自身が決めて、学習のまとめ、発展に向かえるような設定となっている。</p>		
	資 料	<p>○巻頭に使える英語表現を確かめるコーナーがあり、その後の学習に生かせるようになっている。また、巻末には、「Words &amp; Phrases」として単語と表現のリストが掲載されており、コミュニケーション活動で利用できる。また、ミシン目のついたアルファベットカードもついている。                      ○多くのコミュニケーション活動や巻末の「Words &amp; Phrases」のページにQRコードから見られる資料がついている。</p>		
	表記・表現	<p>○英語の表記は、いくつかのフォントが使用されている。特に、Writing では手書き調の字体が使われている。日本語はゴシック体で表記されている。                      ○4線は、第3線が水色で、第2線と第3線の間隔が広がっている。                      ○全体的に文字は大きめとなっている。</p>		
総 括	<p>○大単元が「HOP」「STEP」「JUMP」の構成となっており、「Get Ready」の導入から、2～3つの「Lesson」を経て、まとめの「Presentation」へとつなげる流れとなっている。多目の「聞く」活動から練習を通して語彙や表現に慣れ親しんでいき、最後のアウトプットにつなげられている。                      ○巻末の「Words &amp; Phrases」のリストで、英語の単語や表現を確かめたり、世界の言語や文化に関する資料で異文化理解につなげたりする資料が盛り込まれている。</p>			

項目		書名	17 教 出
特 内 容 色		<b>ONE WORLD Smiles</b>	
		<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○導入の場面絵の映像資料や「Let's Listen」など「聞く」学習を十分に行い、英語の音や語彙、表現に親しんでから、英語を言ったり、やりとりをしたりし、その後読んだり書いたりする流れになっている。「Let's Sing」「Let's Say It Together」でも英語の語彙や表現に慣れるように活動が組み込まれている。                      ○「The Alphabet」「Sounds and Letters」「Review」など「書く」ことの学習も適度に盛り込んであり、継続的に学習できる。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○各単元の構成が、導入の場面絵の映像資料から興味関心と学習の方向付けをもたせ、聞いて慣れる活動、考えを伝える活動へとつなげ、インプットからアウトプットに段階的に学習を進められるようになっている。                      ○やりとりや考えたり、作ったりする「Activity」の積み重ねから、単元の最後には「Final Activity」として、単元の目標に照らした発表等をする活動が各単元に設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○ページ毎の学習内容がわかりやすい。また、単元の目標や内容により、やりとりや発表の目的が明確になっている。                      ○「Where do you want to go?」の単元では、児童が行ってみたい都道府県を紹介する活動で参考になる「名所・名物マップ」があるなど、児童の考えをスムーズにしたり、学習を広げたりすることができる資料があり、思考力・判断力・表現力の育成に役立つ。                      ○各単元に、世界の文化に触れる資料が盛り込まれており、異文化理解につながる。</p> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                      ○各単元とも「聞く」「話す（やりとり）」「読む」「書く」「話す（発表）」の流れがあり、どの技能を高める活動なのかわかりやすい。また、身につけさせたい表現等について段階的に学び、最後の「Final Activity」で、学習したことを生かしながら、目的をはっきりとさせたコミュニケーション活動ができるように設定されている。                      ○導入の場面絵の映像資料をはじめ、日本の身近な事柄だけでなく、外国でのことも扱い、日本と外国の違いやそれぞれのよさを認識する内容をたくさん盛り込んでいる。                      ○単元のめあてが端的に示され、振り返りで4項目ほどで自己評価するようになっている。</p>	
	資 料	○巻頭に「Classroom English」「Let's Start Together」で復習をし、スムーズに英語の学習を始めていくことができる資料が充実している。 ○文字が大きめで、写真や絵を多用してあり、見開きの学習量が多すぎず、見やすい。 ○巻末に「My Word Bank」や英語の歌、アルファベット表、「Jingle」、ミシン目のついたカードなどがある。また、6年生の資料は、最後にマイブックとしてまとめられるようになっている。	
表記・表現	○英語は、手書き文字に近いフォントで統一されている。日本語は、2種類ほどのフォントで表記されている。文字の大きさは、比較的大きめである。 ○4線については、第3線が水色で、第2線と第3線の間隔が少しだけ広がっている。		
総 括	○単元全体の流れが、「聞く」「話す（やりとり）」「読む」「書く」「話す（発表）」で構成されている。たくさん聞くことから英語に慣れ、最後は自分の思いを伝える活動をしてまとめる形になっている。 ○学習で扱うテーマが、身近な日本のことはもちろん外国のことも含めて知り、考えながら英語によるコミュニケーション能力を身につけていくものになっている。 ○巻末に、学習しながら作成していく資料が充実している。		

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">Here We Go!</h1> <span style="float: right;">38 光村</span>
特 内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入では、身近な場面を設定し、見て、聞いて、単元で学習する英語の語彙や表現に触れる「Story」「Let's Watch」「Let's Listen」「Let's Chant」がある。</li> <li>○「Let's Play」で英語の表現に慣れ親しみ、ペアやグループでやりとりしながら思いを伝え合う活動につなげている。</li> <li>○書く活動が聞いたり、やりとりをしたりした後に少しずつ盛り込んであり、無理なく学習ができる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の構成が、「Hop!」「Step1」「Step2」「Jump!」となっており、導入の「Hop!」では身近な場面の会話から、基本的な表現を知り、「Step1, 2」では、聞く活動から話す活動、そして読む、書く活動に段階的に学んでいく。その後、「Jump!」で、学習した語彙や表現を活用して伝え合う活動へとつなげている。</li> <li>○「Jump!」のアウトプットでは、伝え合う目的や場面設定を適切に、そして、明確にしている。また、「World Tour」では、自分の考えを広げる活動が盛り込まれている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Hop!」の見開きのページに、単元の目標が端的に示され、併せて「Hop!」「Step1, 2」「Jump!」ごとのめあても書かれている。また、「Jump!」の後に、単元の振り返りが、「CAN-DO」と「考える」「深める」という観点で、英語を学ぶよさについてもおさえている。</li> <li>○導入で扱う場面が、学校や家庭での生活における内容で、興味を持たせられる。次の学習ではその場面を切り取った部分を生かして活動につなげている。</li> <li>○「Jump!」にある「World Tour」のコーナーは、世界の文化に触れ、日本との比較を意識させる内容となっている。</li> </ul> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元が、「見る・聞く」「話す（やりとり）」「読む」「書く」「話す（発表）」の流れで構成されていて、自然な形で学びを進めていける。</li> <li>○巻頭に、「5年生（6年生）でできるようになること」「4つの「たいせつ」」「さまざまな場面の英語」「アルファベット」「教室で使う英語」「数字」など学習を進めていく上での心構えや参考になる資料を掲載し、コミュニケーション活動が充実できるようにするための資料がある。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙裏に、5年生は「こんにちは。友達になろうよ。」、6年生には「英語で夢を広げよう」があり、世界の同世代の子供たちを意識させたり、職業を意識させたりする資料がある。</li> <li>○単元の間、「Fun Time」として英語の遊びや歌、物語などがあり、学習を広げたり、深めたりできる。</li> <li>○巻末に絵辞典、すごろく、カード、中学校に向けての資料など豊富についている。</li> </ul>
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フォントは、英語、日本語とも統一されている。4線は、第3線が水色で、第2線と第3線の間隔が広がっている。</li> <li>○文字は比較的大きく見やすい。</li> <li>○5つの活動のマークは色は同じだが、形で分けている。</li> <li>○イラストは比較的に見やすい。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元が「Hop!」「Step1」「Step2」「Jump!」となっており、「見る・聞く」「話す（やりとり）」「読む」「書く」「話す（発表）」の流れで学習を進める。</li> <li>○映像資料等含め資料は豊富で活用しやすい。</li> <li>○外国の文化に関する資料や日本と比較して考える活動もあり、世界の文化に触れることができる。</li> <li>○巻末に「ペンマンシップ・シート」があり、繰り返し使える。</li> </ul>

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名 <b>Blue Sky elementary</b></p> <p style="text-align: right;">6 1 啓林館</p>
<p>特 内 容</p> <p>色</p>	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                  ○各単元の導入から、「聞くこと」に多く触れ、基本的な語彙や表現を「Listen and Play」や「Jingle」「Listen and Do」「Chant」で繰り返し学習して身につけていく活動になっている。また、学んだ英語の表現を使って友達等とやりとりや発表をして、自分の思いを伝える「Activity」がある。                  ○各単元の最後に「Let's Read and Write」のコーナーが設定しており、アルファベットや単語の読みと書きを定期的に学習できる。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                  ○各単元の構成が、「Part1」、「Part2」、「Part3」で構成されており、どの段階においてもインプットはしっかりしながら、スモールステップでアウトプットに無理なくつながるようにしてある。                  ○3回組み込んである「Review」では、それまでの単元で学習したことを復習し、場面に合わせた表現を確かめる活動がある。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                  ○各単元の最初のページに見開きの場面絵があり、その単元で学習する内容について見たり聞いたりして、期待感を持ちながら学習をスタートできる構成になっている。また、そこに単元の目標が端的に示されているとともに、各単位時間ごとの「できたかな」と単元ごとの「Looking Back」があり、その都度振り返ることができる。                  ○「Did you know」のコーナーで、世界の文化について触れる内容が盛り込まれている。</p> <p><b>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                  ○各単元の流れが「聞く」「話す（やりとり・発表）」「読む・書く」になっていて、十分に聞くことから表現することにつなげやすい構成である。                  ○各単元にある「Jingle」や巻末の「Word List」は、QRコードを使って学校でも家庭でも練習することができる。また、「Chant」も短時間の練習を繰り返し行って、身につけられるようになっている。                  ○自分の紹介とともに、家族の紹介もあり、実際のコミュニケーションで使える内容である。</p>
<p>資 料</p>	<p>○巻頭に、アルファベットの一覧や「Pre Unit」、「へボン式ローマ字表」があり、前学年での学習を振り返った上で、新しい学年での学習に入ることができる。                  ○巻末には、「Word List」「Can-Do List」、ミシン目のついたカード資料がある。</p>
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○各単元の題名や「読む・書く」のコーナーの文字は飾り文字であるが、その他は見やすいフォントで統一されている。また、4線の第3線が水色になっている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各単元の構成が、「Part1」から「Part2」、「Part3」、「振り返り」、「読む・書く」で統一されている。単元の始めにめあてを示すとともに、見開きの場面絵で導入し、興味と方向付けをして学習が進められるようにしている。振り返りもこまめに盛り込まれている。</p>